

弘前大学附属図書館雑誌棟リニューアルオープンについて

概要

本学附属図書館雑誌棟は令和3年5月6日（木）にリニューアルオープンします。これを記念して10時からリニューアルオープンセレモニーを開催します。

附属図書館では、知の交錯する新たな学修スペースを館内に創出することを目的として、令和2年9月より、雑誌棟の改修工事に着手しました。近年、大学図書館は、教育・学習の質を向上させ、研究活動を支援し、大学と社会との連携を促すことを強く求められていることから、利用者の多様なニーズに対応するため、今回の改修に併せて、設備面での充実等を図りました。

今後は、新たに創出された学修スペースが、学生の主体的な学修意欲向上のための多様な学修ニーズに応じた学習の場として、大いに利用されることを期待します。



主な改修ポイント

◆1階アカデミック・コモンズ

シアター機能やスタジオ機能、情報発信機能等を備えたアクティブ・ラーニング・エリアを新設し、誰でも自由に訪れくつろぎ、アカデミックな交流が生まれる場を創出（プレゼンテーション・スタジオのみ予約制）

①グローバル・スクエア

シアター機能を備えたアクティブ・ラーニング・スペース。海外ニュース（BBC ワールドニュース）や映画を常時放映し、講演会やプレゼンテーション、ワークショップやイベント等、用途に応じてフレキシブルに活用できる空間となっています。映像資料及び図書館資料を活用する授業に利用可能で本学の外国語教育及び教育・研究の国際化の一旦を担うことが期待されます。

【設備等】キャスター及びテーブル付きチェア15脚、スツール型ソファ6台、ミーティングテーブル&チェア12脚、壁一面の巨大な壁面ホワイトボード3面、補助モニター、天吊り液晶プロジェクター 等



②プレゼンテーション・スタジオ

録画機能・設備を備えたスタジオで、講義や授業教材の作成、学科発表のリハーサル、プレゼンテーションの録画・同時中継等に利用できることにより、大学からの発信力をバックアップできる空間となっています。

【設備等】キャスター及びテーブル付きチェア15脚、天吊り液晶プロジェクター、電動スクリーン、側面2面は高さ700mmから天井までの壁面ホワイトボード、電子黒板、書画カメラ、レクチャーテーブル、パソコン 等



③リーディング・ルーム

独自のテーマに基づいて小説や文学作品等を配置し、**利用者の読書意欲を喚起**。また、壁面書架をバックに各種取材への対応ができる**知的な雰囲気をもった空間**となっています。

【設備等】ゆったりとしたソファ3台、ローテーブル、チェア5脚 等



④リフレッシュ・スペース

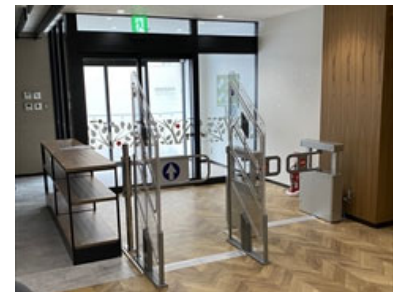
飲食できるエリア。くつろぎを創出する「滞在型」図書館の実現により、**学修・研究の効率アップに貢献できる空間**となっています。また、学生の図書館利用率向上とリラックス時間の確保を図るため、弘大カフェとタイアップし、コーヒー（1日100杯まで）を無料提供します。

【設備等】ファミレスシート、シェルフ、ハイテーブル、スタンディング・テーブル、チェア6脚、ハイチェア8脚 等



◆1階西側（教育学部側）出入口

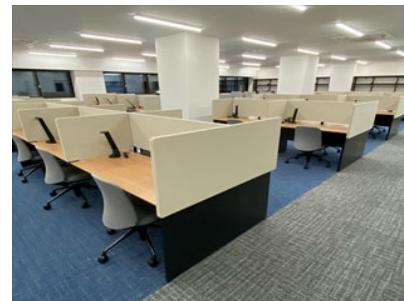
今まで西側（教育学部側）には非常口だけでしたが、改修に合わせて利用者の出入口を設置しました。また、職員対応ができないため、入退館管理システムを導入し、図書館利用証のみの入館としています。



◆2階閲覧室

「**サイレント&コンセントレーション**」をテーマにした**ワークエリア**。1人用にパネル等で仕切られ、コンセントを備えた広めの閲覧机を配置し、PCやタブレット端末を活用しながら**静かに集中して学修できる空間**となっています。

【設備等】34人分の連結デスク及び椅子（更新）、16人分の転用デスク及び既存椅子、LEDタスクライト50個、電源コンセント50個



◆壁面書架（1～2階）

壁面を有効活用し、テーマ別、用途別に資料を配架

1階：壁面を書架で囲み、**利用者の読書意欲を喚起し、知的な雰囲気をもった空間**

<グローバル・スクエア>

英語学習を目的とした図書資料を配架

<リーディング・ルーム>独自のテーマに基づいた小説や文学作品を配架

2階：大型本

【設備】地震対策として安全安心シート・ライン（キハラ製）を装着

